

## 前回の素案からの修正箇所一覧

No.	章	大柱	中柱	項目	修正前	修正後
1	1	1	2	指標	指標名 メール配信サービスへの登録率(%)	指標名 メール配信サービスへの登録者(人)
2	1	2	1	小柱1	第4次防犯推進計画に基づいて、朝霞警察署及び関係機関との連携のもと、複雑巧妙化する犯罪などの防犯情報を市民に提供し、防犯意識の高揚に努めます。	第4次防犯推進計画に基づいて、警察署及びその他の関係機関との連携のもと、複雑巧妙化する犯罪などの防犯情報を市民に提供し、防犯意識の高揚に努めます。
3	1	2	1	小柱2	防犯灯や道路照明灯を適正に設置するほか、危険個所の把握し対応するなど、安全で安心なまちづくりを推進します。 また、高齢化や核家族化がさらに進んでおり、顕在化している空き家問題に取り組み、市民の良好な生活環境の確保に努めます。	防犯灯や道路照明灯を適正に設置するほか、危険個所を把握し対応するなど、安全で安心なまちづくりを推進します。 また、高齢化や核家族化が進む中、防犯的視点からも空き家問題に取り組み、市民の良好な生活環境の確保に努めます。
4	1	2	2	小柱1	若年層から高齢者までの幅広い市民に対し、消費者トラブル未然防止の観点から、消費者教育や啓発活動を推進し、消費者教室といった消費生活について学ぶ機会や、関係機関と連携した消費生活に関する情報の提供等に努めます。	消費者トラブル未然防止の観点から、若年層から高齢者層までの幅広い市民に対し、消費者教室などの学習機会及び関係機関との連携による良質な消費生活情報の提供等に努め、消費者教育や啓発活動を推進します。
5	1	2	2	小柱2	複雑・多様化する消費者トラブルが増えていることから、消費生活相談員のスキルアップを図るほか、関係機関との連携体制を強化し、消費生活相談の充実に努めることで、消費者トラブル被害の回復を図ります。	複雑・多様化しながら増加し続ける消費者トラブルから消費者を守るため、消費生活相談員のスキルアップを図るとともに、関係機関との連携体制を強化し、消費生活相談の充実に努めます。
6	2	1	1	小柱1	すべての人が地域で共に暮らし続けていくために、市社会福祉協議会をはじめ、民生委員児童委員ほか地域の住民と連携し、地域福祉の充実に努めるとともに、地域福祉計画をはじめ、障害者・高齢者・児童などの様々な計画を踏まえ、将来を見据えた新たな支援体制の構築に努めます。	すべての人が地域で共に暮らし続けていくために、社会福祉協議会、民生委員児童委員をはじめ地域の住民と連携し、地域福祉を推進するとともに、地域福祉計画をはじめ、高齢者、障害者のある人、児童などの様々な計画を踏まえ、将来を見据えた新たな支援体制の構築に努めます。
7	2	1	1	小柱2	高齢者、障害のある人、子育てや介護をしている人などを見守り、地域の身近な相談相手として活動する民生委員児童委員をはじめ、地域福祉活動に取り組む団体等に対して、必要な情報を提供するほか活動への参加促進や活性化に向けた支援を行います。	高齢者、障害のある人、子育てや介護をしている人などを見守り、地域の身近な相談相手として活動する民生委員児童委員をはじめ、地域福祉活動に取り組む団体等に必要な情報を提供するほか、住民に活動への参加を促すとともに、団体の活動の活性化に向けた支援を行います。
8	2	1	1	小柱3	地域におけるボランティアの掘り起こしや地域福祉を支える担い手を育成するよう、情報の提供や研修の充実に努めます。 また、福祉サービスの質の向上を図るため、専門的な人材の確保と育成に努めます。	地域におけるボランティアの掘り起こしや地域福祉を支える担い手を育成するため、住民に対する情報の提供や研修の充実に努めます。 また、福祉サービスの質の向上を図るため、専門的な人材の確保と育成に努めます。

No.	章	大柱	中柱	項目	修正前	修正後
9	2	1	1	小柱4	高齢者、障害のある人、子育てや介護をしている人などに適正な福祉サービスを提供するとともに、 <u>権利擁護を確保していくための仕組みづくりを検討</u> します。	高齢者、障害のある人、子育てや介護をしている人などに、 <u>適正な福祉サービスを提供するとともに、福祉サービスを利用する方の権利を擁護する</u> ための仕組みづくりを検討します。
10	2	1	2	小柱1	市の関係部署や市社会福祉協議会など関係機関と連携し、日常生活における様々な困りごとや悩みごとをはじめ、ひきこもりの方、8050問題、ダブルケアなどの複合化かつ複雑化する問題を、包括的に受け止める相談体制等を整えます。	市の関係部署や社会福祉協議会などの関係機関と連携し、日常生活における様々な困りごとや悩みごとをはじめ、ひきこもりの方、8050問題、ダブルケアなどの複合化かつ複雑化する問題を、包括的に受け止める相談体制等を整えます。
11	2	1	2	小柱2	生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者及びその家族からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を <u>はじめ、関係部署や関係機関と連携することにより、生活困窮者等の自立に向けた支援に努めます。</u>	生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者及びその家族からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、 <u>関係機関と連携し、生活困窮者等の自立に向けた支援に努めます。</u>
12	2	2	1	現状と課題	本市における児童虐待の相談件数は増加傾向にあり、社会的にも子どもの命にかかわる虐待事例が頻発しています。 <u>児童の権利擁護に関心が高まる中、児童虐待の未然防止と適切な対応を図るため、市や関係機関や地域が連携した体制を充実させていく必要があります。</u>	本市における児童虐待の相談件数は増加傾向にあり、社会的にも子どもの命にかかわる虐待事例が頻発しています。 <u>児童の権利や擁護に関心が高まる中、児童虐待の未然防止と適切な対応を図るため、市や関係機関や地域が連携した体制を充実させていく必要があります。</u>
13	2	2	2	小柱2	また、子ども、保護者、高齢者の3世代が子育てを通じて交流を図り、 <u>世代を超えた子育て支援を推進します。</u>	また、 <u>地域の中で、子ども、保護者、高齢者の3世代が、子育てを通じて交流することで、子どもにとっては社会性や協調性を育み、保護者にとっては子育てを学び、高齢者にとっては生きがいを持てるよう世代間交流を通じた子育て支援を推進します。</u>
14	2	2	3	指標	現状値R1年度 68	現状値R1年度 44
15	2	2	3	小柱1	<u>待機児童の解消を図るとともに、幼児期の教育・保育に充実、地域型保育事業などの充実に努めます。</u> また、放課後児童クラブの充実に努めます。	<u>幼児期の教育・保育の充実のために、保育所等の整備などにより待機児童の解消を図るとともに、保育の質を確保しつつ、保育サービスの拡充などに努めます。</u> さらに、小学校就学後も安心して児童を預けることができるよう、 <u>放課後児童クラブの拡充に努めます。</u>
16	2	2	3	小柱3	<u>保育士や幼稚園教諭の資質向上を目指す研修の実施を推進するとともに、処遇の改善などに努めます。</u>	<u>保育士や幼稚園教諭の資質向上を目指す研修を推進するとともに、安定した雇用により人材の確保を図るため処遇の改善などに努めます。</u>
17	2	2	4	指標	現状値R1年度 506	現状値R1年度 508

No.	章	大柱	中柱	項目	修正前	修正後
18	2	2	4	小柱1	青少年健全育成への市民意識の啓発に努め、関係団体の助成や支援を行い、学校、事業所などと連携し、「青少年を守り育成する家」を増やすなど、地域全体で青少年健全育成を進めます青少年が抱える課題を把握しながら、必要な支援を行えるよう検討します。	青少年健全育成に関する市民への啓発、関係団体への助成及び支援、学校、事業所などとの連携による「青少年を守り育成する家」の増設など、地域全体で青少年健全育成を進めるほか、青少年が抱える課題を把握し、必要な支援の検討を行います。
19	2	2	4	小柱3	青少年が抱える課題を把握しながら、市民の理解とともに、関係団体、学校、事業所などと連携し、地域全体で青少年が事件や事故に巻き込まれないよう、非行を防ぐ活動を推進します。	青少年が抱える課題を把握し、関係団体、学校、事業所などと連携するとともに市民の理解を得ながら、地域全体で青少年が事件や事故に巻き込まれないよう、非行を防ぐ活動を推進します。
20	2	3	1	指標	現状値R1年度 83 目標値R7年度 80	現状値R1年度 83.4 目標値R7年度 79.9
21	2	3	1	小柱1	高齢者が身近な地域で、自身の能力や経験等を生かし、文化・スポーツ・健康づくりの活動へ参加できることなど、様々な社会参加による活躍ができるよう、関連各課と連携して、情報提供や講習会など基盤整備を進めます。	高齢者が身近な地域で、自身の能力や経験等を生かし、文化・スポーツ・健康づくりの活動へ参加できることなど、様々な社会参加による活躍ができるよう、情報提供や講習会など基盤整備を進めます。
22	2	3	1	小柱2	高齢者の医療及び健康診断情報や介護保険のデータなどを活用して、介護の状態になることを予防するための、情報提供や予防活動を支援します。併せて、介護予防活動の支援から、互助の生活支援の活動づくりを進めます。	市として、介護の状態になることを予防するための情報提供や、予防のための活動を直接・間接に支援します。併せて、介護予防の地域活動グループなどのつながりのある仲間同士で、一人暮らしの方の声掛けや、買い物などの生活支援を行うなどの、お互い様の、生活支援の活動づくりを進めます。
23	2	3	1	小柱3	高齢者の就業機会の確保を図るため、シルバー人材センターの活動を充実支援します。併せて、元気高齢者による生活を支援するサービスの事業化を支援し、就業の機会を拡充します。	高齢者の就業機会の確保を図るため、シルバー人材センターの活動がより一層充実したものとなるよう支援します。また、元気高齢者による生活を支援するサービスの事業化を支援し、就業の機会を拡充します。
24	2	3	2	指標	現状値R1年度 4,700	現状値R1年度 3,797
25	2	3	3	指標	現状値R1年度 6,800	現状値R1年度 6,830
26	2	3	4	指標	現状値R1年度 100	現状値R1年度 59

No.	章	大柱	中柱	項目	修正前	修正後
27	2	4	1	指標	現状値R1年度 67 目標値R7年度 70	現状値R1年度 82 目標値R7年度 100
28	2	4	2	指標	目標値R7年度 18,000	目標値R7年度 23,703
29	2	5	2	指標	現状値R1年度 子宮頸がん50% 乳がん50%	現状値R1年度 子宮頸がん15.2% 乳がん17.9%
30	2	5	3	指標	現状値R1年度 86	現状値R1年度 79.2
31	2	6	—	目指す姿	(新たに追加)	また、生活に困窮した市民が、生活保護制度を活用し、自立に向けた支援を受けながら安心して生活できるまちを目指します。
32	2	6	1	現状と課題	高齢者(75歳以上)の制度の理解を促進するとともに、安心して医療が受けることができるよう、安定した保険財政の支援をします。	高齢者(75歳以上)の制度の理解を促進するとともに、安心して医療が受けることができるよう、安定した保険財政の運営が図られるよう支援をします。
33	2	6	1	小柱2	生活保護受給世帯数は、平成23(2011)年以降、増加が緩やかになり、就労による現役世代の保護廃止が進む一方で、高齢の被保護者が増える傾向は続くものと考えられます。今後も、生活保護受給者の生活の安定と自立促進に向けて、制度の適正な実施を行うとともに、相談・指導を充実させていくことが必要です。	生活保護は、生活保護法に基づき適正に実施するとともに、生活保護受給者の生活の安定と自立促進に向けて、相談・支援・指導を充実させていくことが必要です。
34	3	1	1	指標	指標の説明 「規律ある態度」のアンケート結果における平均正答率 現状値R1年度 小・中学校とも全項目において85%を上回る 目標値R7年度 小・中学校とも全項目において85%を上回る	指標の説明 「規律ある態度」のアンケート結果における平均達成率 現状値R1年度 小学校88.1 中学校89.5 目標値R7年度 小・中学校とも全項目において90%を上回る
35	3	1	2	指標	現状値R1年度 全国平均値を上回る	現状値R1年度 小学校国語68、算数69 中学校国語74、数学63、英語59 全て全国平均値を上回っている

No.	章	大柱	中柱	項目	修正前	修正後
36	3	1	3	指標	指標名 「教科等指導員」任命数 指標の説明 経験もあり、小・中学校の教科・領域において指導のリーダーとなる知識や技能を持つ指導員 策定当初H26年度 10 現状値R1年度 12 目標値R7年度 12	指標名 「教科等指導員」を任命した強化等の数 指標の説明 指導のリーダーとなる知識や技能を持つ「教科等指導員」を任命する教科等の数 策定当初H26年度 6 現状値R1年度 10 目標値R7年度 15
37	3	1	4	指標	現状値R1年度 3,000	現状値R1年度 3,421
38	3	1	4	指標	目標値R7年度 3,200	目標値R7年度 3,850
39	3	2	2	指標	現状値R1年度 新型コロナのため予測不能	現状値R1年度 65,137
40	3	4	1	指標	現状値R1年度 2	現状値R1年度 6
41	3	4	2	指標	現状値R1年度	現状値R1年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
42	4	1	2	指標	現状値R1年度 -3.00(R1見込み)	現状値R1年度 -1.71
43	4	2	1	指標	現状値R1年度 546	現状値R1年度 572
44	4	2	1	小柱2	資源物のリサイクルを推進するため、分別収集及び集団資源回収を推進し、事業者による資源物回収の促進に努めます。	資源物のリサイクルを推進するため、分別収集の徹底を図り、集団資源回収を推進することにより、資源物回収の促進に努めます。
45	4	2	2	指標	現状値R1年度 96.4	現状値R1年度 97.8

No.	章	大柱	中柱	項目	修正前	修正後
46	4	2	2	小柱1	市民の快適で衛生的な生活を確保し、 <u>適正なごみ処理を行うため</u> 、ごみの排出状況に対応した効率的な収集・運搬体制を構築します。	市民の快適で衛生的な生活を確保するため、ごみの排出状況に対応した効率的な収集・運搬体制を構築し <u>適正なごみ処理を行うとともに</u> 、朝霞地区一部事務組合で実施している、し尿処理事業が円滑に進むよう支援してまいります。
47	4	4	1	指標	現状値R1年度 50	現状値R1年度 47
48	4	4	2	指標	現状値R1年度 470	現状値R1年度 505
49	4	4	2	指標	目標値R7年度 500	目標値R7年度 550
50	5	1	1	現状と課題	本市は、都心への交通利便性が高く、国道254号バイパスの整備などさらなる道路・交通の広域交通ネットワークの形成が進展しています。駅周辺など拠点となる地区においては買い物や交流の場などの機能の充実を図るほか、主要な幹線道路沿道において周辺環境と調和した土地利用の促進を図ることが必要です。	本市は、鉄道、幹線道路を軸に都心への交通利便性が高く、国道254号バイパスの整備推進など、さらなる道路・交通の広域交通ネットワークの形成が進展しています。駅周辺など拠点となる地区においては買い物や交流の場などの機能の充実を図るほか、主要な幹線道路沿道において周辺環境と調和した土地利用の促進を図ることが必要です。
51	5	2	1	小柱1	公共交通機関を利用する際の移動の利便性及び安全性に配慮した <u>駅舎や公共交通車両などの施設設備を促進</u> します。	公共交通機関を利用する際の移動の利便性及び安全性に配慮した <u>駅舎の整備、バリアフリーに配慮した公共交通車両の導入等</u> を促進します。
52	5	2	3	指標	目標値R7年度 420,000	目標値R7年度 320,000
53	5	3	2	現状と課題	(新たに追加)	公園等の公共空間の新しい使い方により安全・安心を確保しながら、 <u>利用を促進する必要があります。</u>
54	5	3	2	指標	目標値R7年度 21	目標値R7年度 25
55	5	3	2	小柱2	シンボルロードをはじめ、 <u>緑のオープンスペースを市民と行政が連携・協力して人々が集い憩える場、多様な活動の場の創出</u> に取り組みます。	シンボルロードをはじめとする <u>緑のオープンスペースなど、市民と行政が連携・協力して人々が集い憩える場、多様な活動の場の創出</u> に取り組みます。

No.	章	大柱	中柱	項目	修正前	修正後
56	5	7	2	現状と課題	市内事業者の大多数を占める小規模事業者・中小企業において、 <u>経営状況の悪化が懸念されます。</u>	市内事業者の大多数を占める小規模事業者・中小企業において、 <u>新型コロナウイルスの影響を受け、経営状況が悪化しています。</u>
57	5	7	2	指標	現状値R1年度 24	現状値R1年度 27
58	5	7	3	指標	現状値R1年度 2	現状値R1年度 1
59	5	7	3	指標	目標値R7年度 4	目標値R7年度 3
60	5	8	1	指標	現状値R1年度 60	現状値R1年度 58
61	5	8	1	指標	目標値R7年度 74	目標値R7年度 70
62	5	8	2	指標	指標名 市の支援により起業した件数 指標の説明 起業前に起業家育成相談及び起業家育成セミナーに参加し、その後実際に起業した件数(累計) 策定当初H26年度 56 現状値R1年度 94 目標値R7年度 169	指標名 市の支援を受けて起業した件数 指標の説明 セミナー等に参加し、その後実際に起業した件数 策定当初H26年度 7 現状値R1年度 6 目標値R7年度 15

No.	章	大柱	中柱	項目	修正前	修正後
63	5	9	1	指標	指標名 労働・社会保険相談件数 指標の説明 毎月1回第3土曜日に実施している労働・社会保険相談の相談件数 策定当初H26年度 13 現状値R1年度 20 目標値R7年度 28	指標名 ワーク・ライフ・グッドバランス認定企業件数 指標の説明 市のワーク・ライフ・グッドバランス企業認定制度による認定企業件数 策定当初H26年度 - 現状値R1年度 - 目標値R7年度 30
64	5	9	1	小柱2	労働や雇用問題、社会保険などについて、社会保険労務士が相談を受ける「労働・社会保険相談」を実施します。	労働や雇用問題、社会保険などについて、社会保険労務士による相談会を実施します。
65	5	9	2	指標	指標名 就職支援セミナー参加者の就職率 指標の説明 セミナー参加者に対し、セミナー後3～4か月にその後の就職活動状況のアンケート調査結果 策定当初H26年度 19 現状値R1年度 5 目標値R7年度 29	指標名 市の支援を受けて就職した人数 指標の説明 セミナー参加者等に対するアンケート調査結果による就職人数 策定当初H26年度 8 現状値R1年度 12 目標値R7年度 13
66	6	1	1	指標	現状値R1年度 630	現状値R1年度 646
67	6	1	2	指標	現状値R1年度 13	現状値R1年度 14
68	6	2	1	現状と課題	また、誰もが持ち合わせている性の指向や自認に関する無理解や偏見による差別をなくしていくため、「多様な性」の正しい理解に向けた取組が求められています。	また、若年層を対象とした性と生殖に関する健康と権利についての正しい理解と人それぞれ違った性の指向が認められ、尊重される地域社会の実現が求められています。
69	6	2	1	小柱1	また、主に若年層を対象に、性と生殖に関する健康と権利についての正しい理解の情報提供に努めます。	(削除)



No.	章	大柱	中柱	項目	修正前	修正後
70	6	2	1	小柱3	小柱名称 多様な性の理解促進 説明 一人一人が持ち合わせている性の指向や考えは多様であることへの理解促進と、個性が尊重され認め合える地域社会の実現を図るために、積極的な情報提供と学習機会の充実に努めます。	小柱名称 多様性の尊重と理解促進 説明 主に若年層を対象とした、性と生殖に関する健康と権利についての正しい理解を推進し、また、考える性の指向は多様であることへの意識醸成を図り、無理解と偏見のない、一人一人が尊重された地域社会の実現に努めます。
71	6	2	2	現状と課題	このようなことから、引き続き、男女平等が実感できる生活の実現に向けた取組が求められています。	また、女性があらゆる場面で活躍できるための情報提供や施策を展開するなど、引き続き、男女平等が実感できる生活の実現に向けた取組が求められています。
72	6	2	2	小柱2	小柱名称 政策や方針の立案及び決定過程への男女共同参画の推進 説明 市政のあらゆる分野に男女双方の意見が反映されるよう、市の審議会等における委員の男女比率の均衡に努めます。また、市が率先し、管理的地位の女性職員を増やすなど、政策や方針の立案・決定の場への参画の推進を図ります。	小柱名称 女性の職業生活における活躍の推進 説明 女性活躍推進法の基本理念を踏まえた市町村推進計画に基づき、女性があらゆる場面において活躍できるための情報提供や施策を展開します。また、市が率先し、管理的地位の女性職員を増やすなど、政策や方針の立案・決定の場への女性の参画を図ります。
73	6	3	1	指標	指標名 多文化共生に取り組む市内の団体数 指標単位 団体 指標の説明 市内活動団体のうち、多文化共生に取り組む団体の数 策定当初H26年度 13 現状値R1年度 16 目標値R7年度 19	指標名 多文化共生事業の実施回数 指標単位 回 指標の説明 多文化共生を推進する事業の実施回数 策定当初H26年度 42 現状値R1年度 56 目標値R7年度 61
74	6	3	1	小柱2	身近な相互理解の機会を増やすため、多文化共生や外国人市民との交流を進める市民団体及び「ふじみの国際交流センター等のNPO法人や国・県の関係機関と連携し、多文化共生活動を支援していきます。	身近な相互理解の機会を増やすため、多文化共生や外国人市民との交流を進める市民団体やNPO法人、外国人総合相談センター埼玉等の国・県の関係機関と連携し、多文化共生活動を支援していきます。
75	6	4	1	担当課	主担当課 政策企画課	主担当課 政策企画課、地域づくり支援課

No.	章	大柱	中柱	項目	修正前	修正後
76	6	4	1	現状と課題	<p>審議会の委員ほか、意見交換会、パブリック・コメントなどの実施により、市の様々な施策の計画段階から実施、評価に至るまで、市民参画の機会を設けています。引き続き、若い世代や子育て世代など、幅広く市民が市政に参画しやすい仕組みづくりや自治基本条例の制定などを検討していくことが課題です。</p> <p>また、地域課題を効果的に解決していくためには、地域のことをよく知る市民や関係団体等との協働が求められます。</p>	<p>審議会の委員の公募ほか、意見交換会、パブリック・コメントなどの実施により、市の様々な施策の計画段階から実施、評価に至るまで、市民参画の機会を設けています。若い世代や子育て世代など、幅広く市民がまちづくりや地域の課題に関われるよう、市政に参画しやすい仕組みづくりを推進することが求められています。</p> <p>また、特定の課題を効果的に解決していくためには、その課題についてよく知る市民や関係団体等、当事者の参画や協働が求められます。</p> <p>さらには政策の実行段階での市民の事業への参画など、協働のまちづくりも求められています。</p> <p>自治基本条例の制定や協働指針の改定などを検討していくことが課題です。</p>
77	6	4	1	小柱1	<p>審議会等の公募委員のほか、懇談会やヒアリング調査、パブリック・コメントなどにより、市の施策の計画段階から実施、評価に至るまで、市民参画の機会の充実に取り組みます。実施に当たっては、若い世代や子育て世代にも参加しやすい時間、場所等となるよう改善を図ります。</p>	<p>審議会等の公募委員のほか、懇談会やヒアリング調査、パブリック・コメントなどにより、市の施策の計画段階から実施、評価に至るまで、市民参画の機会の充実に取り組みます。実施に当たっては、若い世代や子育て世代の方参加しやすくなるよう、時間、場所を工夫するほか、市内の様々な関係団体や当事者などとの意見交換を実施する等、参画の機会が増えるように全庁で取り組みます。</p>
78	6	4	1	小柱3	(新たに追加)	<p>小柱名称 地域に関与する市民や団体の育成</p> <p>説明 講座や講演会等の開催を通し、地域での活動に関心を持つ人材を発掘するとともに、お互いのつながりづくりのきっかけとなる機会を提供することで、これから実際に地域に関与する活動に取り組む担い手を育成します。</p>
79	6	4	2	指標	<p>指標名 広報あさか発行部数</p> <p>指標単位 部</p> <p>指標の説明 毎月1日に発行する広報紙の発行部数</p> <p>策定当初H26年度 63,000</p> <p>現状値R1年度 66,400</p> <p>目標値R7年度 68,000</p>	<p>指標名 広報あさかアンケート</p> <p>指標単位 %</p> <p>指標の説明 広報あさかアンケートでの紙面の見やすさが良いを選ぶ割合</p> <p>策定当初H26年度 —</p> <p>現状値R1年度 44</p> <p>目標値R7年度 66</p>

No.	章	大柱	中柱	項目	修正前	修正後
80	6	5	1	小柱1	持続可能なまちづくりを行うため、SDGsの理念と目標を踏まえながら、総合計画の各施策の推進に取り組みます。 また、将来にわたって活力ある地域社会を実現するため、まち・ひと・しごと創生総合戦略を推進します。	持続可能なまちづくりを行うため、SDGsの理念と目標を踏まえながら、総合計画の各施策に取り組みます。 また、将来にわたって活力ある地域社会を実現します。
81	6	5	1	小柱2	地域の特性を生かして施策の推進を図り、限られた財源の中でも新たな行政課題や行政需要に対応するため、行政活動によって生み出された成果を測定し、その結果を次の活動へと結びつけられるよう、行政評価を推進します。	地域の特性を生かして施策の推進を図り、限られた財源の中でも新たな行政課題や行政需要に対応するため、行政活動によって生み出された成果を測定し、その結果を次の活動へと結びつけられるようにします。
82	6	5	2	小柱3	収納率の向上のため、口座振替の奨励のほか、コンビニエンスストアやクレジットカードによる収納を引き続き実施します。	収納率の向上のため、口座振替の奨励のほか、コンビニエンスストアでの収納を引き続き実施していくとともに、クレジットカードによる収納やスマートフォン決済などのキャッシュレス納税を奨励し、納税者の利便性の向上に努めます。
83	6	5	3	現状と課題	ファシリティマネジメントの手法を用いて、市民が安全・安心に公共施設を利用できるように効果的・効率的な管理を行っていくとともに、財政状況を踏まえながら今後の公共施設の在り方を検討していく必要があります。	市民が安全・安心に公共施設を利用できるように効果的・効率的な管理を行っていくとともに、財政状況を踏まえながら経営戦略的な視点で管理、活用し、今後の公共施設の在り方を検討していく必要があります。
84	6	5	3	小柱1	小柱名称 公共施設の計画的な管理	小柱名称 公共施設の計画的な管理・運営
85	6	5	3	小柱1	市の公共施設を安全に利用していただくとともに、市の建物、道路、橋梁、上・下水道などの機能を有効に活用するため、公共施設等総合管理計画に基づき、長寿命化対策をはじめ、計画的な施設管理に努めます。	市の公共施設を安全に利用していただくとともに、市の建物、道路、橋梁、上・下水道などの機能を有効に活用するため、公共施設等総合管理計画に基づき、長寿命化対策などに取り組みます。
86	6	5	3	小柱2	民間のノウハウを活用し、連携を進めながら、管理運営経費の削減や事業サービスの向上を図り、効率的な施設の維持管理に努めます。	民間のノウハウを活用するなど、管理運営経費の削減やサービスの向上を図ります。
87	6	5	4	指標	指標名 事務改善件数 策定当初H26年度 67 現状値R1年度 80 目標値R7年度 100	指標名 事務改善及び職員提案の応募件数(入賞件数) 策定当初H26年度 80(13) 現状値R1年度 94(10) 目標値R7年度 100(10)

No.	章	大柱	中柱	項目	修正前	修正後
88	6	5	4	小柱1	<u>また、施策を確実に実施するに当たり、部署間で連携し事務執行に取り組めます。</u>	(削除)
89	6	5	4	小柱3	<u>ICTやAI、RPA等の適正かつ効果的な活用により、業務の効率性や安定性の確保を図り、行政運営や行政サービスの充実とともに、市民の利便性の向上に努めます。</u>	ICTやAI、RPA等の適正かつ効果的な活用により、 <u>業務の効率性</u> 、行政運営や行政サービスの充実とともに、市民の利便性の向上に努めます。
90	6	5	5	小柱1	<u>新たな行政課題や行政需要などに対応するため、総合調整機能の強化を図りながら、組織の効率的・弾力的な運営に努めます。</u>	<u>市民ニーズや行政課題への対応に当たっては、部署間の連絡を密にして、柔軟な組織運営に努め、統一性をもって取り組めます。</u>
91	6	5	6	指標	目標値R7年度 100	目標値R7年度 92.9